



Creative City  
International  
Conference  
2009 in  
Yokohama

## 横浜クリエイティブシティ国際会議2009 | 横浜宣言

成長の時代から縮退の時代へと、都市を取り巻く環境は大きく変化してきました。社会はよりコンパクトな経済と循環型社会、そして市民自治が求められている中、真に豊かな生活と元気な都市づくりを実現するには、創造性のある社会を構築していく必要があります。

『横浜クリエイティブシティ国際会議2009』では、学びのカタチの創造、アートイニシアティブの未来、都市の文化とイメージ戦略、地域の産業とデザインの可能性、コミュニティ再生、文化の空間戦略について、議論を行いました。

今回の議論を通じて、市民一人ひとりが創造性を持つこと、市民やNPOが、そして産業界が創造都市の主役となるべきこと、都市をとりまく環境の変化に対応した都市ビジョンを示し、都市における文化を生成する戦略を持つべきこと、さらに「創造性」はすべての都市にとってかけがえのない価値であり、それぞれの都市に生活する人の知恵と工夫により豊かな都市の個性を引き出すことが可能であること、その行動を都市に対する愛着や自負につなげていくことの重要性を確認いたしました。

この会議の成果を受けて、今後、参加都市及び参加者では、それぞれの具体的取組を進めるとともに、様々なレベルでのネットワーク形成が図られることでしょう。

開港150周年の節目をむかえ、日本の新しい時代を開く役割を担ってきた開催都市横浜では、地域の自然や歴史、文化的価値を取り入れた魅力ある都市づくりを進めてきました。横浜市は、その成果の上に、創造性による文化芸術・まちづくり・産業のバランスの取れた展開を図り、横浜独自の都市文化を創造することが必要と考えています。

そのためには、創造都市の方向性を示し、開港の地である横浜都心臨海部を再生していくとともに、郊外部にも展開し、横浜を創造性を持った人々にとってチャンスのある街にしていくことが重要です。そして、行政と市民やNPO・企業等との協働の新たな展開を模索していくことが必要です。また、アジアをはじめとする内外の都市との人材交流、創造界隈拠点を中心とした国際的な交流を進め、横浜が提案する創造都市を世界に発信し、世界における創造都市の推進において役割を担うよう努めてまいります。

参加した都市及び参加者は、同じ志をもって、創造都市のそれぞれの役割を進めていくことをここに宣言します。

2009年9月6日 横浜市長 林 文子